

TFT 液晶モジュール

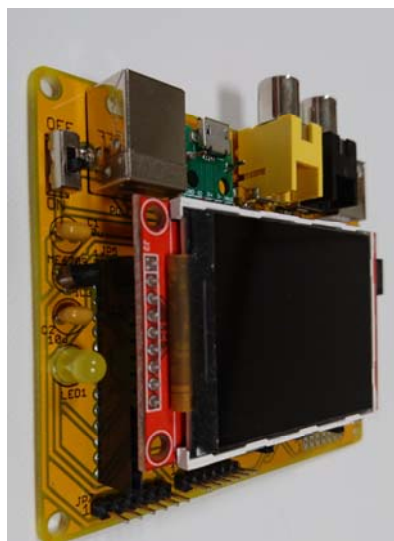
取扱説明書

① ORANGE pico との接続

接続は TFT 液晶のピン番(1~9)を対応する CPU のピンに接続します。

CPU のピン番号	信号	TFT 液晶のピン番号
13 (28)	VDD	1 (VCC)
8 (19,27)	GND	2 (GND)
26	CS	3 (CS)
5	PORT9/RST	4 (RESET)
21	PORT8/DC	5 (DC/RS)
22	PORT7/MOSI	6 (SDI/MOSI)
25	PORT6/SCK	7 (SCK)
3	PORT5	8 (LED)
14	PORT4	9 (SDO/MISO)

特に、ORANGE pico type A/ type D との接続は写真のように、JP5 の 1 番ピンと TFT 液晶の 1 番ピン(VCC)を合わせて装着するだけです。



2.2 インチ TFT 液晶モジュール



2.8 インチ TFT 液晶モジュール

② ORANGE pico からの利用方法

ORANGE pico のデフォルトはビデオ出力になっています。ORANGE pico が起動したら、キーボードから **spitft 1** と入力してください。(spitft のパラメーターは 2 ~ 4 も指定できます。それぞれ 90 度ずつ回転した表示となります。)リセットがかかり再起動します。再起動後は、ビデオ出力が無効になりTFT 液晶が有効になります。

PORT5 が TFT 液晶のバックライトを制御します。spitft 1 で再起動されたときに自動で PORT が HIGH になり、バックライトが点灯します。

ビデオ出力/TFT 液晶出力の情報は、CPU 内部に記憶されますので、次の再起動時も TFT 液晶が有効になります。ビデオ出力にもどすには **spitft 0** と入力してください。